



ボランティア派遣

(1)カンボジアボランティア隊

2010年度は、カンボジアに年2回、38名のボランティアを派遣しました。
8月は下の地図の通り、カンダール県オンクナー小学校、クラチエ県カーポー小学校、コンボンチャム県ソンボー小学校の3校。3月はプルサット県トゥールロケアン小学校、プレアシアヌーク県ブカーチュククロアット小学校の2校にて遊具建設を行いました。また、企業や団体のボランティア活動を受入れました。

カンボジア隊 活動地域



(2)アフリカへ毛布をおくる運動

JHPは1984年以来、アフリカへ毛布をおくる運動の構成団体として協力しています。この間、この活動では27年間に390万枚弱の毛布をアフリカの国々へおくり続けてきました。昨年度、アフリカへ毛布をおくる推進委員会は、毛布15,120枚、海外輸送協力金5,600万円のご支援をいただきました。今年度は現地配布ボランティアの派遣を見合わせ、毛布委員会のメンバーが手分けして配布国を訪問し、毛布が確実に必要としている人々の手に届いているか確認することになっています。

※東日本大震災ボランティア隊の活動については、P.28下欄をご覧ください。



啓蒙活動

(1)「天満敦子チャリティーコンサート (無伴奏)Vol.6」

初回開催の2005年から毎年カンボジアの音楽教育支援を目的として皆様へ呼びかけ続けてまいりました「天満敦子チャリティーコンサート」。2010年度は天満敦子さんの誕生日でもある7月18日に東京・晴海の第一生命ホールで開催しました。時差2時間遅れのカンボジアの子どもたちにも素晴らしい音色が届けばとばかり、場内がひとつの想いで結ばれ一体となった幸せなひと刻でした。JHPの活動に賛同し例年ご出演ご協力くださる天満敦子さんからお客様へ次のようなあたたかなメッセージが述べられました。

「小山内先生からお声をかけていただいて、何ができているのかわかりませんが、この頃、いろいろな場面で“継続の大切さ”を感じています。長年このような活動を続けている小山内先生を尊敬しています。暑いのが苦手だからと躊躇していたけれど、いつかカンボジアの子どもたちにも会いに行ければと願っております。」

和田薫さん委嘱作品の『独奏ヴァイオリンのための譚歌五色』すべてを演奏くださるなど、印象深いコンサート内容でもありました。

全国からご来場いただいたお客様は488名、ご都合によりご来場が叶わないけれど趣旨に賛同しご寄付くださった方は23名、当日お手伝いくださったボランティアの方々は28名(社会人10名、大学生18名)。このほか告知チラシ作成にご協力いただいたグラフィックデザイナー吉田圭子氏、プログラム用紙をご寄贈くださった田井文具店など多くの皆様のご協力とご支援により、教師も教材も驚くほど不足しているカンボジアの教育支援事業を継続できております。

(2)「チャリティーオークションパーティー Vol.3」

2010年12月7日火曜日、「チャリティーオークションパーティー」を開催しました。2006年から2年ごとに開催するこの集いは、限定100名のお客様にご参加いただき、神楽坂のアグネスホテルを会場として美味しいお食事とお喋り、ミニコンサート、JHPの活動にご賛同くださる各界著名人、文化人や企業からご寄贈いただいたお品々の中からお気に召したものをお求めいただくことで、教育を受ける権利や機会を奪われているカンボジアの子どもたちの教育支援に役立てるために企画。過去2回開催時も準備からご協力いただいたTBSプロデューサーの石井ふく子氏はこの度は心臓手術のため欠席になった小山内代表に代わり、女優の熊谷真実氏と共にオークションMCも担い大いに会場を盛り上げてくださいました。なお同チャリティーのために各界著名人41名(企業含)様から計292点のお品物をご寄贈いただきました。また平日のお昼間にもかかわらず15名(社会人8名、大学生7名)の皆様がボランティアとしてお手伝いくださいました。



演奏後に笑顔をかかず
天満敦子さんと小山内代表



オークション会場となったアグネスホールでは
津軽三味線・浅野祥さんのミニコンサートで
会場にあたたかな一体感が醸し出された